



↑ 清掃する商工会青年部員

★ 商工会の日ボランティア作業

★ ロードミラー清掃で地域に貢献

長島町商工会は6月10日の「商工会の日」にあわせて13日、役員および青年部員で町内のロードミラー清掃を行いました。

清掃は今回が初めての試みで、部員24人が参加し、鷹巣本所、指江支所に分かれ、2人1組となって実施しました。コケが生えて緑色がかったり、潮の影響で白くなったミラーの表面を丁寧に洗い落としました。この日は合計150本のロードミラーを1時間ほどかけて清掃しました。

堀元哲也青年部長は「清掃中、通りがかった集落の人たちに喜ばれた。この活動が各店舗の売り上げにもつながってほしい。今後も継続したい」と抱負を話しました。

↓ 川添町長に焼酎が手渡されました



まちの話題

★ 本浦小がマダイの稚魚放流体験

★ 大きくなあれと声かけながら

6月28日、本浦小学校（富岡乃夫也校長）は全校児童38人によるマダイの稚魚放流体験を行いました。

本浦港で東町漁業協同組合や北陸地域振興局職員から魚の成長について説明を受けた後、3隻の船に分かれて沖合の放流個所に向かいました。およそ7割ほどに成長した稚魚11,000匹あまりを、バケツから海に放流したり、1匹ずつ手でつかんで放流したりする児童もいました。6年の長岡拓海君は「命のつながりを見るのができてよかった」と感動していました。



↑ 稚魚の成長に願いを込めて放流する児童ら

★ 本浦小 120周年記念焼酎

★ 大人になったら飲みたいな

7月3日、本浦小学校（富岡乃夫也校長）の児童と保護者の代表が長島町役場を訪れ、川添健町長に手づくりの焼酎をプレゼントしました。

昨年度、創立120周年を迎えた同校は、記念事業として記念焼酎の製作を企画。例年児童らが栽培、収穫しているサツマイモを原料に、出水市の酒造会社に醸造を依頼しました。6月に出来上がった焼酎瓶のラベルには、児童らが作った地域の歌の歌詞を掲載し、全児童の思いを詰めて、銘柄も曲名と同じ「だんだん！諸浦島」としました。

6年の早崎千紘さんは「本浦小学校の思いがいっぱい詰まっているから、きっと優しい味がすると思う。諸浦島以外の人にも飲んでほしい」と出来栄に満足した様子でした。